【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の４の７第１項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成25年11月14日
【四半期会計期間】	第120期第２四半期(自　平成25年７月１日　至　平成25年９月30日)
【会社名】	神東塗料株式会社
【英訳名】	SHINTO PAINT COMPANY, LIMITED
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長　　玉　村　隆　平
【本店の所在の場所】	兵庫県尼崎市南塚口町六丁目10番73号
【電話番号】	大阪06(6426)3355(代表)
【事務連絡者氏名】	企画・経理室部長　　村　野　義　博
【最寄りの連絡場所】	兵庫県尼崎市南塚口町六丁目10番73号
【電話番号】	大阪06(6426)3355(代表)
【事務連絡者氏名】	企画・経理室部長　　村　野　義　博
【縦覧に供する場所】	神東塗料株式会社本社(東京) (東京都江東区新木場四丁目３番17号) 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町２番１号)

第一部 【企業情報】

第１ 【企業の概況】

１ 【主要な経営指標等の推移】

回次		第119期 第２四半期 連結累計期間	第120期 第２四半期 連結累計期間	第119期
会計期間		自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日	自 平成25年４月１日 至 平成25年９月30日	自 平成24年４月１日 至 平成25年３月31日
売上高	（百万円）	11,609	11,585	23,383
経常利益	（百万円）	738	478	1,518
四半期（当期）純利益	（百万円）	434	226	826
四半期包括利益又は包括利益	（百万円）	492	368	994
純資産額	（百万円）	13,866	14,530	14,368
総資産額	（百万円）	34,363	34,732	34,847
１株当たり四半期（当期）純利益金額	（円）	14.04	7.31	26.68
潜在株式調整後１株当たり四半期（当期）純利益金額	（円）	―	―	―
自己資本比率	（%）	39.3	40.6	40.0
営業活動によるキャッシュ・フロー	（百万円）	718	470	1,204
投資活動によるキャッシュ・フロー	（百万円）	△280	△453	△785
財務活動によるキャッシュ・フロー	（百万円）	△455	318	△298
現金及び現金同等物の四半期末（期末）残高	（百万円）	1,257	1,805	1,395

回次		第119期 第２四半期 連結会計期間	第120期 第２四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成24年７月１日 至 平成24年９月30日	自 平成25年７月１日 至 平成25年９月30日
１株当たり四半期純利益金額	（円）	8.01	3.86

（注）１ 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
２ 売上高には、消費税等は含まれておりません。
３ 「潜在株式調整後１株当たり四半期(当期)純利益金額」については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第２四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社の異動は、以下のとおりであります。

（塗料事業）

第１四半期連結会計期間において、重要性が増した神之東塗料貿易(上海)有限公司及びPT. Shinto Paint Indonesiaを連結子会社にしております。

この結果、平成25年９月30日現在では、当社グループは、当社、親会社、子会社11社（うち、持分法を適用しない非連結子会社１社）及び関連会社４社（うち、持分法を適用しない関連会社１社）により構成されることとなりました。

第２ 【事業の状況】

１ 【事業等のリスク】

当第２四半期連結累計期間において、本四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生、又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在しておりません。

２ 【経営上の重要な契約等】

当第２四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等は行われておりません。

３ 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の緊急経済対策等の経済政策の効果により円安・株高による景気回復の兆しがみられるものの、中国経済をはじめ、新興国経済の減速等の影響を受け、さらには円安による原材料価格の上昇傾向も続き、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループにおきましては、こうした経済状況の中で新製品の開発による積極的な販売活動及びアジア市場での海外事業の展開とともに、コスト競争力の一層の向上を目指して取り組んでまいりました。

この結果、当第２四半期連結累計期間における売上高は11,585百万円（前年同四半期比0.2%減）となりました。損益面では、営業利益は371百万円（前年同四半期比42.3%減）、経常利益は478百万円（前年同四半期比35.3%減）、四半期純利益は226百万円（前年同四半期比47.9%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

（塗料事業）

アルミ電着塗料はアルミサッシ建材を主としたユーザー向けの出荷が引き続き堅調に推移し、さらには消費税増税による駆け込み需要や大震災復興需要により各ハウスメーカーが増産体制に入ったことにより好調に推移するとともに、主力ユーザーの新規ラインの獲得による当社シェアの拡大などにより、売上は増加いたしました。

工業用電着塗料は、自動車部品、鋼製家具、住宅部材などは消費税増税の駆け込み需要並びに新規需要家の獲得などによる出荷量の増加により、売上は増加いたしました。

粉体塗料は新規ライン獲得と既存ユーザーである電器・配電盤業界の生産量増加と新規ライン獲得による出荷量の増加により、売上は増加いたしました。

工業用塗料は、建材関連と形鋼製品向けの出荷は堅調に推移しましたが、主力の工作機械及び建設機械向けがユーザーの減産が続いており、売上は減少いたしました。

建築塗料は、九州地区での大手ユーザーは堅調に推移したものの、東日本地区での集合住宅等の指名工事が低調であったことや汎用製品の伸びが低く、売上は減少いたしました。

防食塗料は、新設橋梁向けの出荷が一部下期にずれたことにより、売上は減少いたしました。

道路施設用塗料は総じて好調で、売上は増加いたしました。とくに主力のカラー舗装材、すべり止め材及び段差修正材が堅調に推移しました。また、区画線用はペイントライナーは不調だったものの、溶融材が好調に推移し、売上は大幅に増加いたしました。

軌道材料製品については、道床安定剤は主力ユーザー向けが堅調に推移しましたが、一部で昨年の特需の反動もあり、出荷量は減少しました。スラブ補修材については、東日本地域での主力ユーザー向けが好調に推移したものの、全体としては売上は減少いたしました。

自動車用塗料分野では主力ユーザー向けの出荷が堅調に推移し、売上はほぼ前年並みとなりました。

この結果、売上高は10,705百万円（前年同四半期比0.3%増）、経常利益は479百万円（前年同四半期比34.7%減）となりました。

（化成品事業）

受託生産している化成品事業の売上高は879百万円（前年同四半期比6.1%減）、経常損失は１百万円（前年同四半期は３百万円の経常利益）となりました。

(2) 財政状態の分析

（総資産）

当第２四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ現金及び預金が409百万円増加し、受取手形及び売掛金が887百万円減少したこと等により34,732百万円（前連結会計年度末比114百万円減）となりました。

（負債）

当第２四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ短期借入金が470百万円、長期借入金が55百万円増加し、支払手形及び買掛金が755百万円、流動負債のその他に含まれる設備関係支払手形が117百万円減少したこと等により20,202百万円（前連結会計年度末比276百万円減）となりました。

（純資産）

当第２四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ為替換算調整勘定が83百万円増加したこと等により14,530百万円（前連結会計年度末比162百万円増）となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第２四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、1,805百万円（前年同四半期比548百万円増）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは470百万円（前年同四半期比247百万円減）となりました。その主な要因は、税金等調整前四半期純利益435百万円、売上債権の減少による増加868百万円、仕入債務の減少765百万円、法人税等の支払額165百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは△453百万円（前年同四半期比173百万円減）となりました。その主な要因は、有形固定資産の取得による支出445百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは318百万円（前年同四半期比773百万円増）となりました。その主な要因は、借入れによる収入1,956百万円、借入金の返済による支出1,463百万円、配当金の支払による支出153百万円等によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第２四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第２四半期連結累計期間における当社グループが支出した研究開発費の総額は94百万円であります。また研究開発による新製品・新品種は下記の通りであります。

（塗料事業）

・クイックエポシーラーⅡ

(屋根材用ターペン可溶形エポキシ変性アクリル樹脂系シーラー)

・シントーフロン＃100Sマイルド上塗

(２液ターペン可溶形ふっ素樹脂系高耐候性上塗り塗料)

第３ 【提出会社の状況】

１ 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

① 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	112,000,000
計	112,000,000

② 【発行済株式】

種類	第２四半期会計期間末現在発行数(株)(平成25年９月30日)	提出日現在発行数(株)(平成25年11月14日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	31,000,000	31,000,000	東京証券取引所(市場第一部)	単元株式数は1,000株であります。
計	31,000,000	31,000,000	―	―

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数(千株)	発行済株式総数残高(千株)	資本金増減額(百万円)	資本金残高(百万円)	資本準備金増減額(百万円)	資本準備金残高(百万円)
平成25年９月30日	―	31,000	―	2,255	―	585

(6) 【大株主の状況】

平成25年９月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数(千株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
住友化学㈱	東京都中央区新川二丁目27番１号	13,989	45.13
デュポン・パフォーマンス・コーティングス ゲー・エム・ベー・ハー・アンド・コー・ケー・ジー (常任代理人デュポン㈱)	クライストブッシュ25,42285. ヴッパタール 独国 (東京都千代田区永田町二丁目11番１号)	1,550	5.00
神東塗料取引先持株会	兵庫県尼崎市南塚口町六丁目10番73号	1,096	3.54
三井住友海上火災保険㈱	東京都千代田区神田駿河台３丁目９番地	830	2.68
トヨタ自動車㈱	愛知県豊田市トヨタ町１番地	400	1.29
日本証券金融㈱	東京都中央区日本橋茅場町一丁目２番10号	236	0.76
住友商事ケミカル㈱	東京都中央区晴海一丁目８番12号	235	0.76
居　内　寛　二	大阪府茨木市	225	0.73
㈱みなと銀行	神戸市中央区三宮町二丁目１番１号	200	0.65
阪　本　重　治	山梨県甲府市	192	0.62
計	―	18,953	61.14

(7) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

平成25年９月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	―	―	―
議決権制限株式（自己株式等）	―	―	―
議決権制限株式（その他）	―	―	―
完全議決権株式（自己株式等）	（自己保有株式） 普通株式 14,000	―	―
完全議決権株式（その他）	普通株式 30,934,000	30,934	―
単元未満株式	普通株式 52,000	―	―
発行済株式総数	31,000,000	―	―
総株主の議決権	―	30,934	―

(注) 「完全議決権株式(その他)」の「株式数」の欄には証券保管振替機構名義の普通株式が6,000株含まれております。また、「議決権の数」の欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る普通株式の議決権が６個含まれております。

② 【自己株式等】

平成25年９月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(株)
（自己保有株式） 神東塗料株式会社	兵庫県尼崎市南塚口町六丁目10番73号	14,000	―	14,000	0.05
計	―	14,000	―	14,000	0.05

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第４ 【経理の状況】

１．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

２．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の２第１項の規定に基づき、第２四半期連結会計期間（平成25年７月１日から平成25年９月30日まで）及び第２四半期連結累計期間（平成25年４月１日から平成25年９月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年３月31日)	当第２四半期連結会計期間 (平成25年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,428	1,838
受取手形及び売掛金	※3 8,284	7,396
商品及び製品	1,885	1,929
原材料及び貯蔵品	617	622
その他	297	348
貸倒引当金	△37	△38
流動資産合計	12,475	12,096
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,419	2,392
機械装置及び運搬具（純額）	846	901
土地	16,247	16,247
その他（純額）	225	387
有形固定資産合計	19,739	19,928
無形固定資産	385	362
投資その他の資産		
投資有価証券	1,564	1,690
その他	711	698
貸倒引当金	△29	△43
投資その他の資産合計	2,246	2,345
固定資産合計	22,371	22,636
資産合計	34,847	34,732
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	※3 7,255	6,500
短期借入金	3,397	3,867
未払法人税等	164	177
賞与引当金	215	224
役員賞与引当金	15	7
その他	※3 1,037	1,004
流動負債合計	12,086	11,782
固定負債		
長期借入金	1,985	2,040
再評価に係る繰延税金負債	4,557	4,557
退職給付引当金	1,187	1,170
役員退職慰労引当金	8	7
その他	653	644
固定負債合計	8,391	8,419
負債合計	20,478	20,202

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,255	2,255
資本剰余金	585	585
利益剰余金	3,854	3,896
自己株式	△2	△2
株主資本合計	6,692	6,734
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24	45
土地再評価差額金	7,282	7,282
為替換算調整勘定	△47	35
その他の包括利益累計額合計	7,259	7,364
少数株主持分	415	432
純資産合計	14,368	14,530
負債純資産合計	34,847	34,732

(2)【四半期連結損益及び包括利益計算書】
【第２四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第２四半期連結累計期間 (自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日)	当第２四半期連結累計期間 (自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日)
売上高	11,609	11,585
売上原価	9,072	9,203
売上総利益	2,536	2,381
販売費及び一般管理費		
発送費	285	303
広告宣伝費及び販売促進費	49	91
従業員給料及び手当	473	494
賞与引当金繰入額	98	104
退職給付費用	68	63
減価償却費	74	77
試験研究費	75	94
その他	767	778
販売費及び一般管理費合計	1,892	2,009
営業利益	644	371
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	10	9
受取賃貸料	15	11
持分法による投資利益	96	94
その他	5	14
営業外収益合計	128	129
営業外費用		
支払利息	16	12
投資有価証券評価損	9	0
為替差損	1	9
その他	6	0
営業外費用合計	33	23
経常利益	738	478
特別損失		
固定資産除却損	2	5
支払補償費	―	37
特別損失合計	2	42
税金等調整前四半期純利益	736	435
法人税等	257	171
少数株主損益調整前四半期純利益	478	264
少数株主利益	43	37
四半期純利益	434	226

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
少数株主利益	43	37
少数株主損益調整前四半期純利益	478	264
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	20
為替換算調整勘定	－	20
持分法適用会社に対する持分相当額	12	62
その他の包括利益合計	14	104
四半期包括利益	492	368
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	447	325
少数株主に係る四半期包括利益	44	43

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第２四半期連結累計期間 (自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日)	当第２四半期連結累計期間 (自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	736	435
減価償却費	239	266
貸倒引当金の増減額（△は減少）	3	16
賞与引当金の増減額（△は減少）	3	8
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	6	△7
退職給付引当金の増減額（△は減少）	15	△17
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△5	△0
受取利息及び受取配当金	△10	△9
支払利息	16	12
為替差損益（△は益）	－	12
持分法による投資損益（△は益）	△96	△94
投資有価証券評価損益（△は益）	9	0
有形固定資産売却損益（△は益）	△0	－
有形固定資産除却損	2	5
売上債権の増減額（△は増加）	△235	868
たな卸資産の増減額（△は増加）	97	△48
仕入債務の増減額（△は減少）	277	△765
未払消費税等の増減額（△は減少）	△8	△6
その他	△0	△60
小計	1,052	614
利息及び配当金の受取額	37	35
利息の支払額	△15	△13
法人税等の支払額	△355	△165
営業活動によるキャッシュ・フロー	718	470
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△169	△445
有形固定資産の売却による収入	0	0
投資有価証券の売却による収入	－	3
子会社出資金の取得による支出	△65	－
子会社株式の取得による支出	△30	－
長期貸付けによる支出	△0	△1
長期貸付金の回収による収入	0	0
その他	△15	△11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△280	△453
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	500	456
短期借入金の返済による支出	△700	△300
長期借入れによる収入	900	1,500
長期借入金の返済による支出	△1,017	△1,163
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△123	△153
少数株主への配当金の支払額	△15	△21
財務活動によるキャッシュ・フロー	△455	318
現金及び現金同等物に係る換算差額	－	△6
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△18	328
現金及び現金同等物の期首残高	1,275	1,395
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	－	80

現金及び現金同等物の四半期末残高	※1	1,257	※1	1,805

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第２四半期連結累計期間 (自　平成25年４月１日　至　平成25年９月30日)
１　連結の範囲の重要な変更 第１四半期連結会計期間より、重要性が増した神之東塗料貿易(上海)有限公司及びPT. Shinto Paint Indonesiaを連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

	当第２四半期連結累計期間 (自　平成25年４月１日　至　平成25年９月30日)
１　税金費用の計算	税金費用については、当第２四半期連結会計期間を含む当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

１　保証債務

連結会社以外の会社の金融機関等からの借入に対して、債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成25年３月31日)	当第２四半期連結会計期間 (平成25年９月30日)
PT. Shinto Paint Indonesia	84百万円	―
	(900千USドル)	(―)
PT. Shinto Paint Manufacturing Indonesia	―	195百万円
	(―)	(230億インドネシアルピア)

２　手形割引高

	前連結会計年度 (平成25年３月31日)	当第２四半期連結会計期間 (平成25年９月30日)
受取手形割引高	1百万円	―

※３　四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の連結会計年度末日満期手形が、連結会計年度末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年３月31日)	当第２四半期連結会計期間 (平成25年９月30日)
受取手形	464百万円	―
支払手形	360百万円	―
設備関係支払手形	114百万円	―

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※１　現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前第２四半期連結累計期間 (自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日)	当第２四半期連結累計期間 (自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日)
現金及び預金勘定	1,290百万円	1,838百万円
預入期間が３か月超の定期預金	△33百万円	△33百万円
現金及び現金同等物	1,257百万円	1,805百万円

(株主資本等関係)

前第２四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年９月30日）

１　配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額(百万円)	１株当たり配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年５月11日取締役会決議	普通株式	123	4.00	平成24年３月31日	平成24年６月８日	利益剰余金

２　基準日が当第２四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第２四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第２四半期連結累計期間（自　平成25年４月１日　至　平成25年９月30日）

１　配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額(百万円)	１株当たり配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年５月10日取締役会決議	普通株式	154	5.00	平成25年３月31日	平成25年６月７日	利益剰余金

２　基準日が当第２四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第２四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第２四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年９月30日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			合計
	塗料事業	化成品事業	計	
売上高	10,672	936	11,609	11,609
セグメント利益	734	3	738	738

２　報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利　　益	金　　額
報告セグメント計	738
四半期連結損益及び包括利益計算書の経常利益	738

３　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第２四半期連結累計期間（自　平成25年４月１日　至　平成25年９月30日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			合計
	塗料事業	化成品事業	計	
売上高	10,705	879	11,585	11,585
セグメント利益又は損失（△）	479	△1	478	478

２　報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利　　益	金　　額
報告セグメント計	478
四半期連結損益及び包括利益計算書の経常利益	478

３　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(１株当たり情報)

１株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第２四半期連結累計期間 (自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日)	当第２四半期連結累計期間 (自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日)
１株当たり四半期純利益金額	14.04円	7.31円
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	434	226
普通株主に帰属しない金額(百万円)	―	―
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	434	226
普通株式の期中平均株式数(千株)	30,986	30,985

(注) 潜在株式調整後１株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

２ 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月14日

神東塗料株式会社
　取締役会　御中

有 限 責 任 あ ず さ 監 査 法 人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	中　尾　正　孝	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	谷　口　誓　一	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の２第１項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている神東塗料株式会社の平成25年４月１日から平成26年３月31日までの連結会計年度の第２四半期連結会計期間(平成25年７月１日から平成25年９月30日まで)及び第２四半期連結累計期間(平成25年４月１日から平成25年９月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益及び包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任
経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任
当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。
四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。
当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論
当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、神東塗料株式会社及び連結子会社の平成25年９月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第２四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係
会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以　上

(注) １．上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
２．四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。